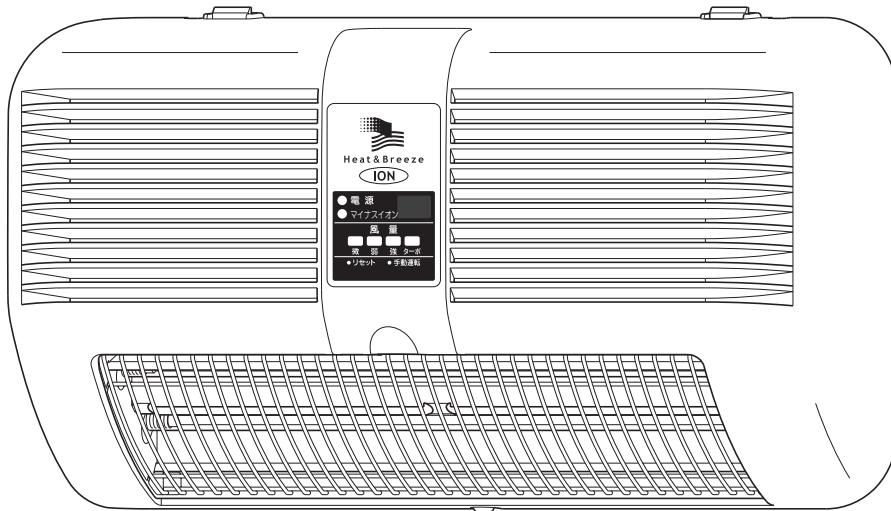
壁面取付タイプ

涼 風 暖 房 機

（トイレ・脱衣室・サニタリー用）

取扱・施工説明書（保証書別添付）　お客さま用

【機種】・RD-1200G（人感センサー付き）
・RD-1200M（マイナスイオン発生装置付き）
・RD-1200　（マイナスイオン発生装置なし）

【イラストはRD-1200M】

【共通リモコン】

このたびは、涼風暖房機をおもとめいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱・施工説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は「保証書」とともに大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意

必ずお守りください

取付工事を始める前に必ずこの取扱・施工説明書をお読みください。
コンセントまでの電気工事は電気工事士が行う。（お客さま自身で電気工事をしないでください。）
●取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で 区分して説明しております。

表示	内容
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示（例）で区分し説明しています。

絵表示	説明
⚠	⚠ 記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
🛇	🛇 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
❗	❗ 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

⚠ 警告

絵表示	内容
分解禁止	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
❗	電源プラグのほこりなどは定期的にとる プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
ぬれ手禁止	電源プラグをぬれた手で抜き差ししない 感電の原因になります。
🛇	コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、AC100V以外では使わない たこ足配線などで、定格を越えると、発熱による火災の原因になります。
🛇	有機溶剤やスプレーを本体の近くに置かない 爆発や火災の原因になります。
❗	幼児や自分で操作のできない方には特に注意する やけどや低温やけどをおこす恐れがあります。
❗	そばを離れるときには、必ず運転停止させる 火災の原因になります。
🛇	上下を逆にしたり、縦方向に取り付けない 本体に不具合が生じ、火災の原因になります。

安全上のご注意　（必ずお守りください）

⚠ 警告

!	**電源プラグを抜き差しするときは、必ず運転の停止を確認してから行う** 電源プラグの刃やコンセントが傷み、火災の原因になります。
!	**電源プラグは根元まで確実に差し込む** 差し込みが不完全ですと、感電や発熱により火災の原因になります。
⊘	**定格（15A）不足の延長コードは絶対に使用しない** コードの発熱等により、火災の原因になります。
⊘	**カーテン、タオル、衣類など燃えやすいものの近くでは使わない** 火災の原因になります。
⊘	**ヒーターカバーのすき間から指を入れたり、ピンや針金などの金属物や異物などを入れない** 内部に触れたりして、感電ややけどの原因になります。
	お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く 不意に動作して、やけどをしたり、感電の原因になります。
	使用中や使用直後は本体高温部に触れない やけどの原因になります。

⚠ 注意

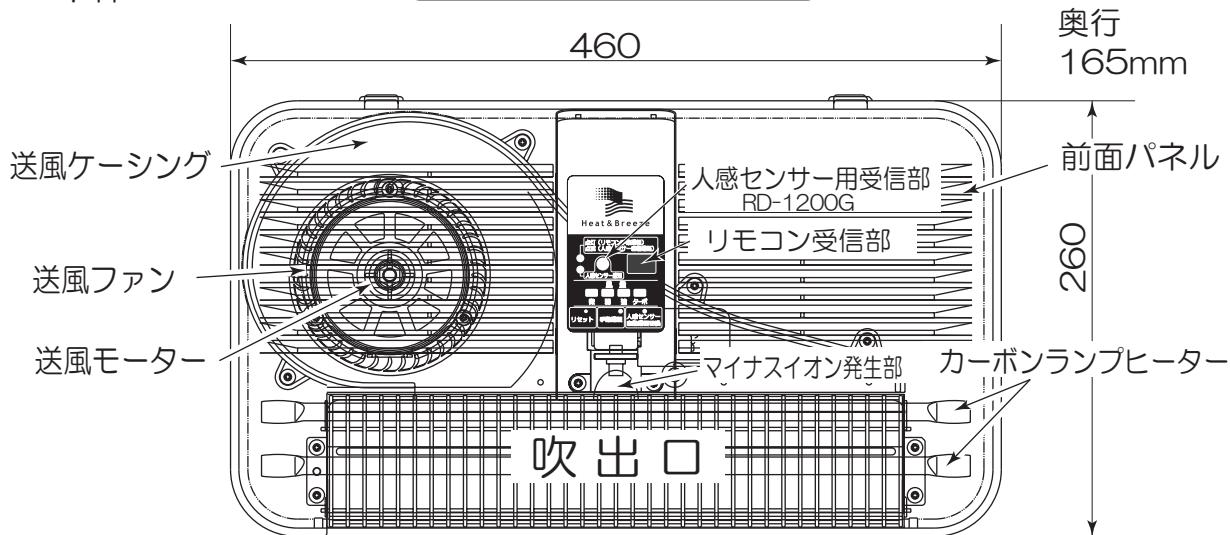
!	**本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下により、けがをする恐れがあります。
⊘	**部品の取付けは確実に行う** 落下により、けがをする恐れがあります。
⊘	**ヒーターの熱を直接受ける場所にものを置かない** 特に熱によわい物は本体吹出口から50ｃm以上離してください。変形・変質・変色の原因になります。
⊘	**本体などにぶらさがらない** 落下や転倒して、けがをする恐れがあります。
⊘	**強い振動や衝撃を与えない** カーボンランプヒーターが破損し、感電やガラス破片によりけがの原因になります。
⊘	**ヒーターを直接見つめない** 目に悪い影響を与える恐れがあります。
⊘	**衣類乾燥など他の用途には使わない** 過熱して、火災の原因になります。
!	**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、電源プラグを持つ** コードがショートや断線して、火災や感電の原因になります。
⊘	**長時間同じところを暖め続けない** やけどや低温やけどの原因になります。

各部の名称

■本体

奥行
165mm

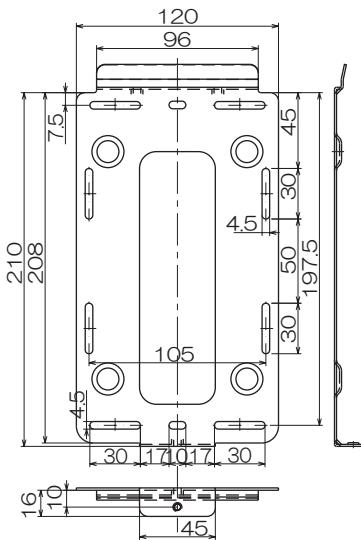
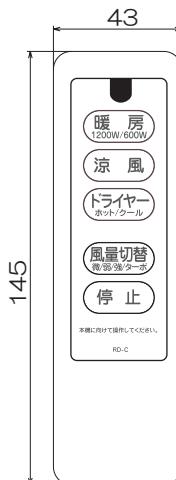
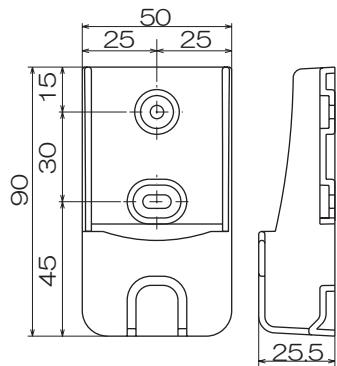
送風ケーシング
送風ファン
送風モーター
人感センサー用受信部
RD-1200G
リモコン受信部
マイナスイオン発生部
前面パネル
カーボンランプヒーター
吹出口

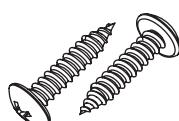
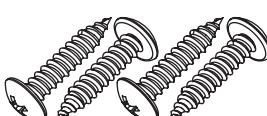
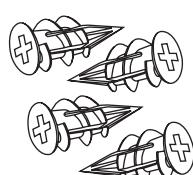
460
260

※マイナスイオン発生装置付の場合、運転時は常にマイナスイオンが吹出口より出ています。

■取付金具

■共通リモコン（RD−C）

■リモコンホルダー

暖房
1200W/600W
涼風
ドライヤー
ホット/クール
風量切替
微/弱/強/ターボ
停止

付属部品

●取扱・施工説明書
●保証書
●単4乾電池（2本）
●リモコンホルダー固定ねじ
（4×30−2本）

●取付金具固定ねじ
（4×30−4本）

●アンカー（4本）
（石膏ボード用）

リモコンのはたらき

ワイヤレスリモコン（RD－C）

暖房モードボタン
温風運転をします。
押す毎にヒーターの1200Wと600Wが切り替えられます。風量切替スイッチで微風/弱風/強風/ターボの切替可能。ターボ運転は10分後自動的に強風運転に変わります。
風量とヒーター1200W/600Wは前回モードを記憶。
初期値：風量微風・ヒーター1200W

ドライヤーモードボタン
温風（ホット）と送風（クール）運転をします。押す毎にホット（温風1200W）とクール（ヒーターOFFの涼風）が切り替えられます。風量切替スイッチで微風/弱風/強風/ターボの切替可能。ターボ運転は10分後自動的に強風運転に変わります。
風量とヒーターON/OFFは前回モードを記憶。
初期値：風量強風・ヒーター1200W

停止ボタン
運転を停止します。

発信部
本機へ操作信号を送信します。
本機受信部に向けて操作してください。

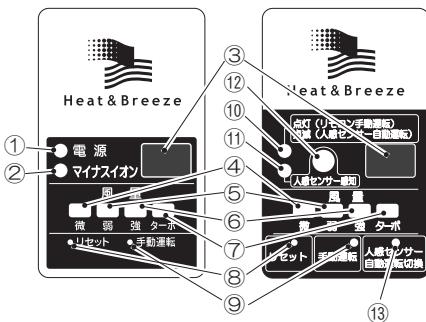
涼風モードボタン
送風運転をします。（冷房機能は有りません。）
風量切替スイッチで微風/弱風/強風/ターボの風量が切替可能。
ターボ運転は10分後自動的に強風運転に変わります。
初期値：強風

風量切替ボタン
暖房・涼風・ドライヤーモードのとき微/弱/強/ターボの風量調整が可能。
ターボ運転は10分後自動的に強風運転に変わります。

乾電池部（裏面）
乾電池（単4X2本）使用します。

■本機はワイヤレスリモートコントロールタイプ（一方向送受信）なので 必ず、リモコンを本機に向けて操作し、本機の受信音（ピッ・ピーなど）が鳴ったことを確認してください。
■リモコンの電池（乾電池単4×2本）の入れ替えは、必ず2本同時におこなってください。
古い乾電池と混ぜて使用しますと発熱、破損、液漏れ等の恐れがあります。

注意　人感センサー自動運転とリモコン手動運転の切替はリモコンではできません。
　　　Ｐ－１１の人感センサー運転について（RD-1200Gのみ）を参照してください。

リモコン受信部のはたらき

①電源ランプ
本機にAC100Vが供給されたとき点灯します。
②マイナスイオンランプ(1200Mのみ)
いずれかのモードで運転された時点灯します。
③リモコンからの信号受信部(P11)
リモコンが押されたとき信号をキャッチする部分。
④微運転ランプ(P10-11)
風量切替ボタンを押し、このランプが点灯したとき微運転します。
⑤弱運転ランプ(P10-11)
風量切替ボタンを押し、このランプが点灯したとき弱運転します。
⑥強運転ランプ(P10-11)
風量切替ボタンを押し、このランプが点灯したとき強運転します。
⑦ターボ運転ランプ(P10-11)
風量切替ボタンを押し、このランプが点灯したときターボ運転します。
⑧リセットボタン(P13)
本体に異常が生じたとき、このボタンを押すと初期設定値に戻ります。
⑨手動運転ボタン(P11)
リモコンが故障したとき、このボタンを押すと手動で運転ができます。
⑩人感センサー・自動運転表示ランプ
点灯時はリモコン運転、点滅時は人感センサー運転です。
⑪人感センサ感知ランプ
人を人感センサーが感知したとき、点灯します。
⑫人感センサー感知部
人を感知する部分
⑬人感センサー自動運転切替ボタン
押すごとに人感センサー自動運転を切り替えます。

ご使用の前に

初期値

製品出荷時には下表の初期値に設定されています。設定を変えた場合、その内容が記憶されます。

モ　ー　ド	風　　量	ヒ　ー　タ　ー
暖　　房	微　　風	1200W
涼　　風	強　　風	−
ドライヤー	強　　風	1200W

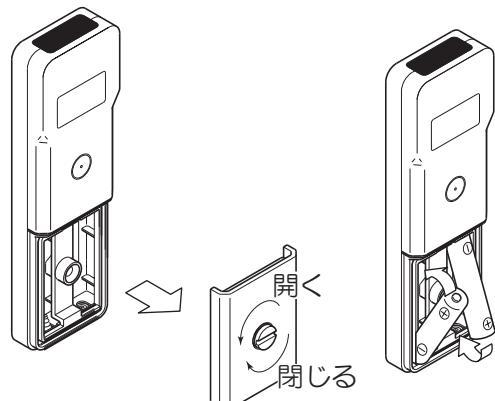
運転モード

この涼風暖房機には、下記の運転モードがあります。リモコンで操作してください。

モード	主な用途	風　　量	ヒーター	マイナスイオン発生	
				有	無
暖　房	冬場などさむいとき	微風/弱風/強風/ターボ	ON 1200W（2本点灯） 600W（1本点灯）	○	×
涼　風	夏場などあついとき	微風/弱風/強風/ターボ	OFF	○	×
ドライヤー	髪や身体を乾かすとき	微風/弱風/強風/ターボ	ON（1200W）/OFF	○	×

●マイナスイオン付の機種の場合、運転を開始すると自動的にマイナスイオンを発生します。
※消し忘れ防止として、各モード共約２時間で自動停止します。
　ヒーターＯＮの状態から停止する場合は、約２０秒間の微風で冷却運転後、停止します。
※ターボ運転は約10分後自動的に強風運転に替わります。
※操作を行っても運転ができない場合は、「故障かな？と思ったら」P13を参照してください。

乾電池の入れ方

①リモコン裏面の電池フタ固定ねじをコインでまわしフタを開けてください。
②付属の単４乾電池を２本入れて再度電池フタをしてください。

● ⊕ ⊖ は正しく入れてください。
●長時間使用しない場合は、乾電池を取り外しておいてください。
※乾電池の寿命は約１年程度で、リモコンの使用頻度により異なります。

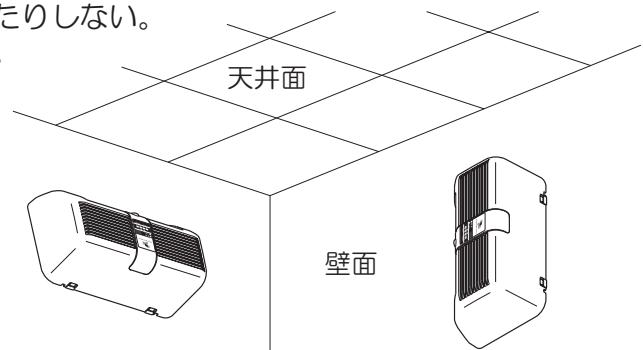
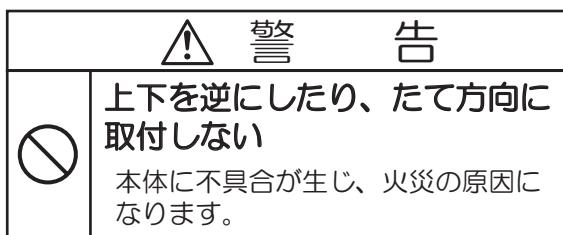
⚠ 注意

●乾電池は充電しないでください。発熱、破損、液漏れにより火災やけが、周囲を汚損する原因になります。
●乾電池交換のときは、必ず新しい単四乾電池を２本同時に交換してください。
　古い乾電池と混ぜて使用しますと発熱、破損、液漏れ等の恐れがあります。
●万一、乾電池からもれた液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流し、目に入ったときはきれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。

設置の前に

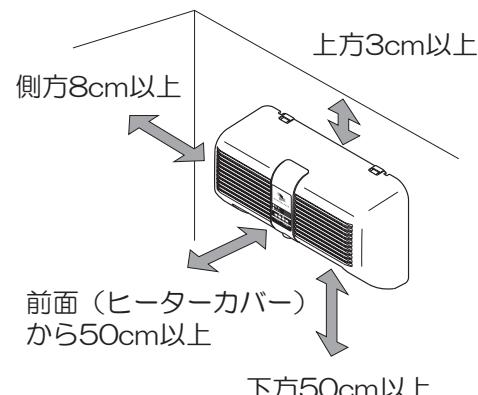
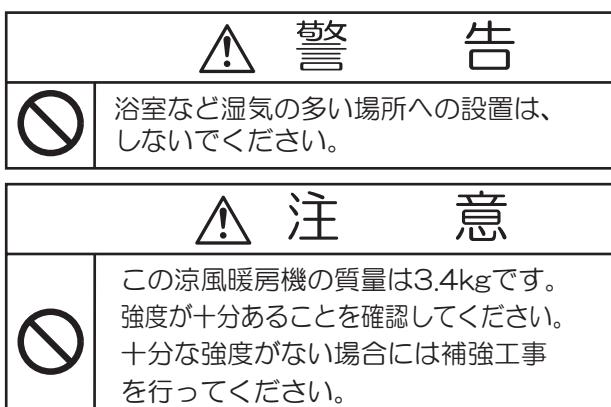
設置のまえに以下のことをご確認ください。

●上下を逆にしたり、たて方向に取り付けたりしない。
●壁に向かって風が出るように取付しない。

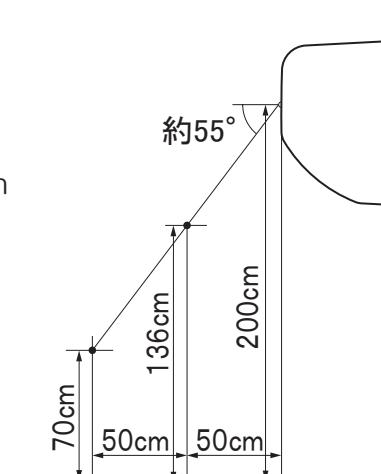
⚠ 警　告	
	上下を逆にしたり、たて方向に取付しない 本体に不具合が生じ、火災の原因になります。

設置について

設置は「安全上のご注意」（2～3ページ）をお守りのうえ、壁や燃えやすいもの（可燃物）から右図の寸法を離してお使いください。

⚠ 警　告	
	浴室など湿気の多い場所への設置は、しないでください。

⚠ 注　意	
	この涼風暖房機の質量は3.4kgです。 強度が十分あることを確認してください。 十分な強度がない場合には補強工事を行ってください。

【センサーの反応距離】

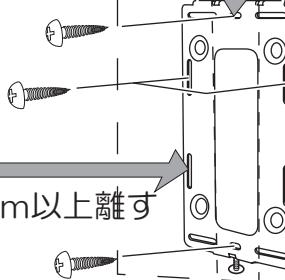
本体のセンサー部分を床面から２００ｃｍの所に取り付けた場合、センサー受光部真下から５０ｃｍ離れた所で、床面から１３６ｃｍ上の所で反応し、１００ｃｍ離れた所で床面から７０ｃｍ上の所で反応する。

※右図の反応距離を参考に、取付位置を検討してください。

設置のしかた（足元に注意し、手袋で手を保護して行ってください。）

① 取付金具を取り付ける

・前面パネル固定ねじをゆるめ（外さない）、本体から取付金具を外す。
・取り付ける壁面の厚さは10mm以上の板、あるいは裏面に柱や桟のあるところを選ぶ。
※柱や桟は壁を軽くたたくと硬い音がするところにありますが、千枚通しなどを刺して確認してください。

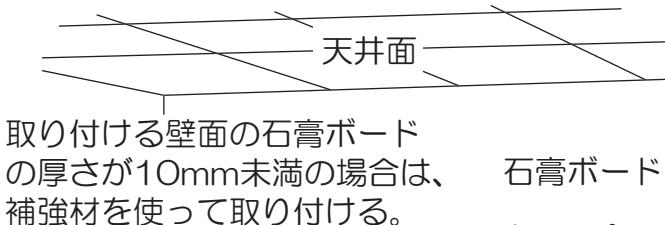
板壁や桟に取り付ける場合

取り付ける壁面の厚さが10mm未満の場合で壁面に桟のない場合は、補強板を使って取り付ける。

※補強の際は、市販の木板，木ねじを使用して８ヶ所を壁に固定してください。

※柱や桟に合う取付穴（10ヶ所）を使用して取り付けてください。

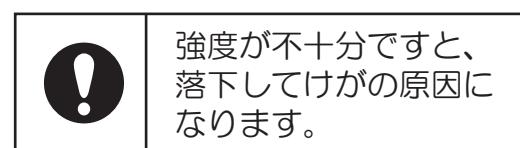
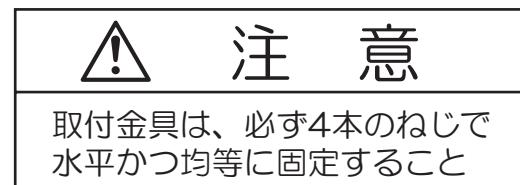
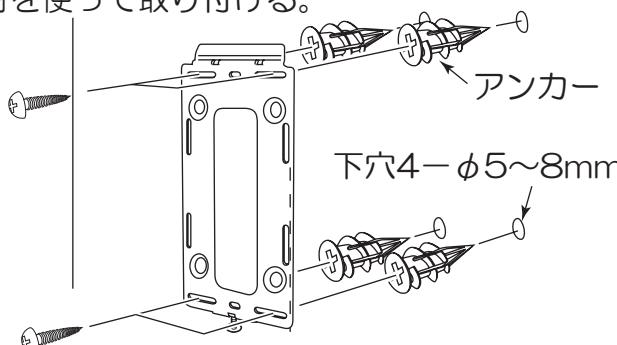
石膏ボードに取り付ける場合

●石膏ボードの厚さが約10mm以上あることを確認する。（石膏ボードの厚みはほとんどが約10mmあります。）
●取付金具にあわせ、下穴約φ5～8mmを４ヶ所あけ、付属のアンカーを取り付ける。
●石膏ボードは、非常にもろいため、締めすぎには十分注意する。
●高トルクインパクトドライバーや電動ドライバーのご使用は避けてください。
※下穴をあけられない場合：アンカーを下穴の位置に刺し、ドライバーで壁の面までねじ込んでください。

天井面

取り付ける壁面の石膏ボードの厚さが10mm未満の場合は、補強材を使って取り付ける。

⚠ 注　意

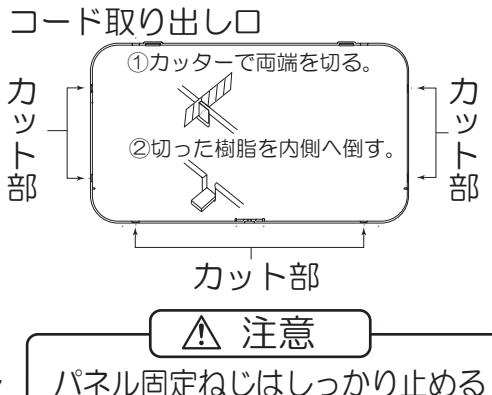
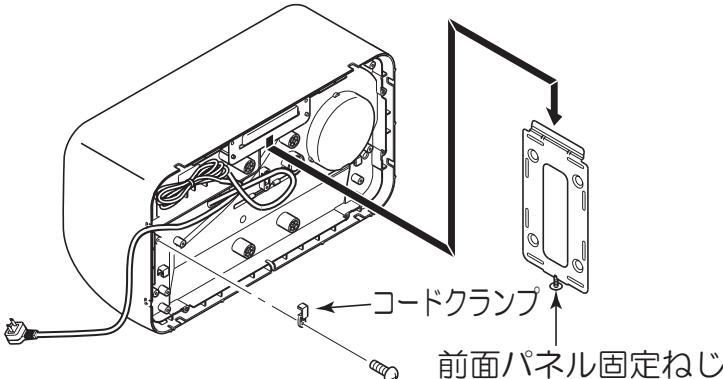
取付金具は、必ず4本のねじで水平かつ均等に固定すること

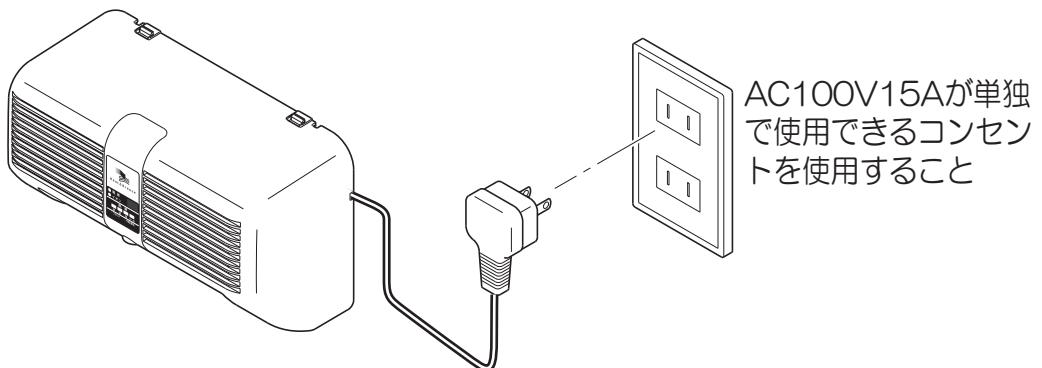
強度が不十分ですと、落下してけがの原因になります。

壁面材質	壁面厚さが10mm以上	壁面厚さが10mm未満
木の板・桟に取り付ける場合	付属の取付金具固定ねじ４本を使用して設置します。	市販の木板，木ねじを使用し、付属の取付金具固定ねじを使用して設置します。
石膏ボードに取り付ける場合	下穴φ5～8mmを4ヶ所あけ付属のアンカー4本を埋め込み付属の取付金具固定ねじ4本を使用して設置します。	

設置のしかた

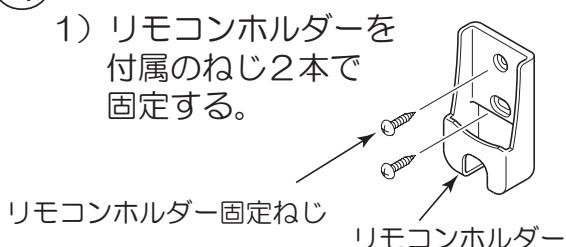
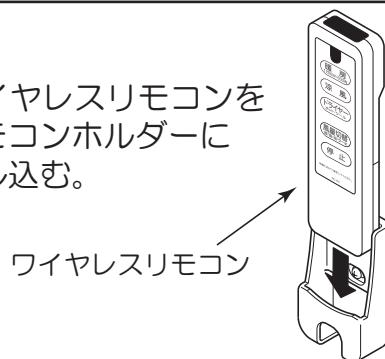
② 1）電源コード取り出し口を決定し、予備のコードクランプで本体に固定する。
コード取り出し口が上部２箇所以外のときは、カッター等で前面パネル側面をカットして取り出し口を確保する。余った電源コードは本体背面内に収める。
2）本体を取付金具上部からスライドさせてはめ込む。（電源コードを挟まないように気をつける。）
3）前面パネル固定ねじを締める。
4）本体をゆすってみて、しっかり固定されているか確認する。

⚠ 注意

パネル固定ねじはしっかり止める

③ 1）電源コードのプラグをコンセントに根元まで確実に差し込む。

AC100V15Aが単独で使用できるコンセントを使用すること

⚠ 警　告	
🛇	定格15A以上確保できるコンセントを単独で使用すること 他の器具と併用すると配線や配線機器などが異常発熱して発火するおそれがあります。
🛇	電源プラグをぬれた手で抜き差ししない 感電の原因になります。
❗	電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱により火災の原因になります。
🛇	定格（15A）不足の延長コードは絶対に使用しない コードの発熱等により、火災の原因になります。

④ リモコンホルダーの取付

1）リモコンホルダーを付属のねじ２本で固定する。

2）ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーに差し込む。

運転のしかた

暖房運転

冬季や寒いときにお使いください
■室内をあたためたいとき

① 暖房 1200W/600W　モードボタンを押すと、暖房運転を開始します。

② 暖房 1200W/600W　モードボタンを押すごとに、カーボンランプヒーター1200W/600Wの切り替えができます。

③ 風量切替 微/弱/強/ターボ　ボタンを押すごとに、微風→弱風→強風→ターボ（→微風に戻る）の順に風量が切り替わります。

注）風量：ターボ運転は約10分後自動的に風量：強風運転に切り替わります。

④ 停止　ボタンを押すことにより運転は停止されます。

※消し忘れ防止として、各モード共約2時間で自動停止します。
ヒーターONの状態から停止する場合は、約20秒間の微風冷却運転後停止します。

⑤ 暖房 1200W/600W　モードボタンが再度押されると、前回の設定内容が記憶されていて、その内容で運転されます。

⚠ 注　意

- ●ヒーターONの状態から停止する場合は、約20秒間の微風で冷却運転後停止します。
- ●暖房運転時は必ずドアや窓を閉めてください。
- ●暖房運転は室内の広さ・気密性・断熱性・室温・外気温により、十分暖まらない場合があります。
- ●室内に換気扇がある場合は止めてください。暖房能力が落ちます。

涼風運転

夏季や暑いときにお使いください
●送風は冷房機能ではありません。

① 涼風　モードボタンで、涼風運転を開始します。カーボンランプヒーターは点灯しません。

② 風量切替 微/弱/強/ターボ　ボタンを押すごとに、強風→ターボ→微風→弱風（→強風に戻る）の順に風量が切り替わります。

注）風量：ターボ運転は約10分後自動的に風量：強風運転に切り替わります。

③ 停止　ボタンを押すことにより運転は停止されます。

※消し忘れ防止として、各モード共約2時間で自動停止します。

④ 涼風　モードボタンが再度押されると、前回の設定内容が記憶されていて、その内容で運転されます。

ドライヤー運転

髪や身体を乾かすときにお使いください

① ドライヤー ホット/クール　モードボタンを押すと、カーボンランプヒーター1200Wドライヤー運転を開始します。

② ドライヤー ホット/クール　モードボタンを押すごとにホット（２本点灯）／クール（消灯）の運転が切り替わります。
●カーボンランプヒーター１本の点灯はできません。

〈次ページへ〉

運転のしかた

ドライヤー運転

〈前ページより〉

③ 風量切替（微/弱/強/ターボ） ボタンを押すごとに、強風→ターボ→微風→弱風 の順に風量が切り替わります。（弱風の次は強風に戻ります）

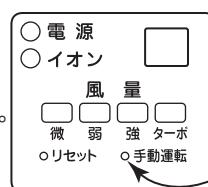
注）風量：ターボ運転は約10分後自動的に風量：強風運転に切り替わります。

④ 停 止 ボタンを押すことにより運転は停止されます。
※消し忘れ防止として、各モード共約２時間で自動停止します。
ヒーターONの状態から停止する場合は、約20秒間の微風冷却運転後停止します。

⑤ ドライヤー（ホット/クール） モードボタンが再度押されると、前回の設定内容が記憶されていて、その内容で運転されます。

●設置場所の環境により髪や身体が乾きにくい場合があります。
●髪のセットはハンディードライヤーをお使いください。

手動運転について

リモコンの破損や紛失で操作ができなくなった場合緊急対応で手動運転ができます。

【イラストはRD-1200M】

手動運転ボタン穴
先の細い棒状のもの（つまようじなど）を手動運転の穴に差し込み押してください。

〈運転順〉

微風ヒーター無→弱風ヒーター無→強風ヒーター無→ターボヒーター無→
微風ヒーター２本→弱風ヒーター２本→強風ヒーター２本→ターボヒーター２本→停止

※連続（5秒以内）で押すごとに手動で運転を切り替えられます。
※5秒以上間隔をおいて手動スイッチが押された場合は運転が停止します。

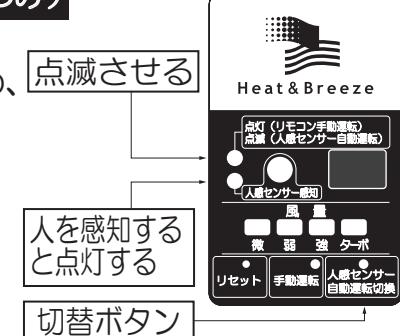
⚠ 注 意
●高いところでの作業となりますので、足場には十分注意してください。 ●手動運転操作中モードによりカーボンランプヒーター部が点灯いたしますので、やけどなどに十分ご注意ください。

人感センサー運転について（RD-1200Gのみ）

【人感センサー自動運転の設定方法】

※電源投入から３０秒間は人感センサーの安定待ちのため、人感センサー自動運転切替ボタンの操作はできません。

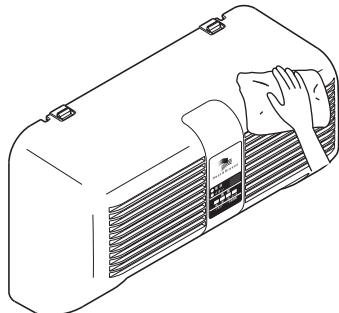
①人感センサー自動運転切替ボタンを押し、人感センサー自動運転のランプを点滅にする。
②人を感知し、前回設定したモードで運転を開始します。
③運転モードを変更する場合は、リモコンか手動運転ボタンで設定を変更してください。
④退室後（人感センサ感知ランプ消灯）約１分後に運転が停止します。

切替ボタン

受信音について

リモコンからの信号を本体が受信したときは、次の信号音が鳴ります。
操作するときは、本体が受信したことを必ず受信音で確認してください。

① 暖 房（1200W/600W） 涼 風 ドライヤー（ホット/クール） モードボタンを押したときの運転開始音・・・『ピッピーー』
② 停 止 ボタンを押したときの運転停止音（自動停止も含む）・・『ピーー　』
③ 暖 房（1200W/600W） ドライヤー（ホット/クール） 風量切替（微/弱/強/ターボ） などの切替操作受付音・・・・・・・・・・・・・『ピッ　』

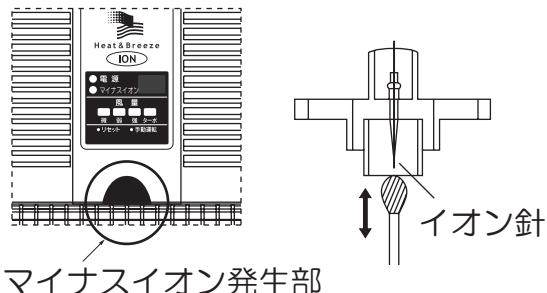
お手入れのしかた

ヒーター周辺や本体内部の清掃は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませた、
　やわらかい布をかたくしぼって拭いてください。
●商品外観のほこりは、掃除機で吸いとってください。

●変質・変色防止のために右側のようなものは、
　絶対に使用しないでください。
●化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに
　従ってください。

【マイナスイオン付の機種】

マイナスイオン吹出口の清掃（一年に一回ぐらいを目安に）

市販の乾いた大きめの綿棒を図のようにゆっくりと
イオン針先端に当たるまで差し込み、2～3度上下
に抜き差ししてください。
※強く差し込みすぎるとイオン針の先端が変形する
　恐れがありますので注意して作業してください。

⚠ 警　告

お手入れの際は、必ず運転の停止を確認してから電源プラグを抜く
不意に動作して、やけどをしたり、感電の原因になります。

⚠ 注　意

●**お手入れは、本体が冷めてから行う**
　やけどの原因になります。
●**お手入れは、足元に注意し、手袋などで手を保護してからおこなう**
　けがや感電の恐れがあります。
●**カーボンランプヒーターを指や棒などでさわらない**
　ヒーターの寿命が短くなったり、故障や破損の原因になります。

お願い

長年お使いになりますと、電源コードの傷みやホコリのたまりが思わぬ災害の原因となることがあります。安全に長期間使用していただくため、ときどき販売店に点検をご依頼ください。

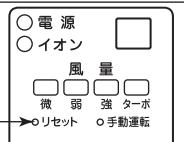
故障かな？と思ったら

症　　状	原　　因	処　置　方　法
運転ボタンを押しても運転しない （電源ランプが点灯しない）	①停電 ②電源ブレーカーが切れている ③電源プラグが抜けている	①電源が復帰するまで待ってください。 ②電源ブレーカーを「入」にしてください。 ③電源プラグをコンセントに差し込んでください。
運転ボタンを押しても運転しない （電源ランプは点灯する）	①リモコンの電池消耗 ②リモコンの ⊕ ⊖ があっていない ③リモコンを本体受光部に向けていない ④リモコンのターミナル部が破損、またはさびている	①リモコンの電池を交換してください。 ②リモコンの電池の ⊕ ⊖ を正しく入れてください。 ③リモコンを本体受光部に正確に向けてください。 ※①、②、③の処置をおこなっても運転しない場合、本体・リモコンのリセットをしてください。（下記参照） ④新しいリモコンを購入してください。

リセットのしかた

本体が異常と思われる場合

リセットスイッチを2～3秒押すことにより、電源を遮断してリセットを行います。
この操作は、リセット穴に先の細い棒状のもの（ようじなど）を入れ、中のリセットスイッチを押してください。

●高いところでの作業となりますので、足場には十分注意してください。

リモコンが異常と思われる場合

乾電池を一度抜いて再度入れてください。
このとき、電池ターミナル部に異常がないか確認してください。

仕　　様

定　格	運転モード	風量	消費電力（W）		送風風量（m³／h）	平均風速（m／s）	騒　音（dB）	質量（kg）
交流 100V 50／60Hz	暖房	切替	600W	1200W				約3.4
		（微）	605	1205	75	1．0	30	
		（弱）	608	1208	150	2．0	34	
		（強）	615	1215	230	3．0	42	
		（ターボ）	630	1230	300	4．0	47	
	涼風	（微）	5		75	1．0	30	
		（弱）	8		150	2．0	34	
		（強）	15		230	3．0	42	
		（ターボ）	30		300	4．0	47	
	ドライヤー	切替	ホット	クール				
		（微）	1205	5	75	1．0	30	
		（弱）	1208	8	150	2．0	34	
		（強）	1215	15	230	3．0	42	
		（ターボ）	1230	30	300	4．0	47	
外形寸法	W460×D165×H260（mm）							
リモコン寸法	W43×D18×H145（mm） 重量100g（リモコン60g リモコンホルダー17g 乾電池2本23g）							
発熱体	カーボンランプヒーター（600W×2本＝1200W）							
電源コード	VCTFK2．0mm×2芯－2．5m（耐トラッキング　L型プラグ付）							

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問合わせください

①保証書		保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。 保証期間　　お買い上げ日から１年間です。
②修理を依頼されるとき		この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かな？・・・と思ったら」（P13）の点検をしていただき、それでも故障と思われる場合には運転を停止し、ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店にご相談ください。
	保証期間中	保証の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、保証書をご用意のうえ、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	保証期間経過後	お買い上げの販売店にご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。
③補修用性能部品の保有期間		涼風暖房機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打切り後６年です。

愛情点検

☆長年ご使用の涼風暖房機の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●運転開始後回転音が不規則に聞こえたり回転がしない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●異臭がする。 ●その他の異常を感じる。

使用中止	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、必ずお買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

お客様メモ

お買い上げの際に記入しておくと、お問い合わせの時に便利です。

お買い上げ販売店名	住所	電話	
取り付け工事会社	住所	電話	
お買い上げ年　月　日	年	月	日
品　　番			
製造番号			

0802D